

放生津小学校利活用 ニュースレター

Vol.4

R8.1月発行

放生津小学校と新湊小学校の統合に伴い、令和9年度以降、旧放生津小学校の新たな利活用が始まります。

市では、子どもたちの健やかな成長を支えてきた旧放生津小学校の利活用に向けて、地域の方々と話し合い、一緒に利活用を考えていきたいと思っています。

ニュースレターとして、学校利活用に向けた取組状況などをお知らせします。



〒939 - 0294

富山県射水市新開発410番地1

射水市 公共施設マネジメント推進課

TEL: 0766-51-6638

E-MAIL: shisetsu-mg@city.imizu.lg.jp



②まちとつながるマルシェ 令和7年10月5日（日）午前9時～

学校の体育館やピロティ、グラウンド部分を使って、地元中心に活躍しておられるお店を集めたマルシェを実施しました。

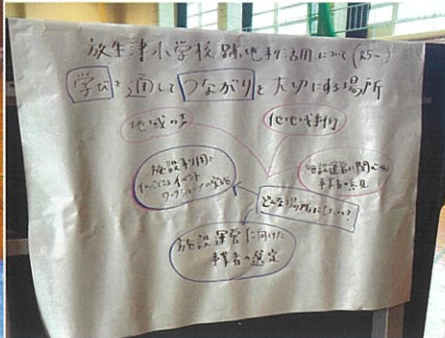
あいにくの雨でしたが、参加された方々はみなさん各ブースを楽しんでおられました。



③まちとつながる作戦会議 令和7年11月24日（月・祝）午前10時～

実際の学校の利活用が始まった際に「自分たちがどんな風にこの場所を使うことができるのだろうか」「こういった形で関わっていけるのだろうか」といった地域の方々の思いを、参加者で共有する機会になりました。

参加者からは「地域の人が集える場が増えるのはよいことだが、どのように持続させていくかが重要」といった声や、「子どもたちのためという意見は多いが、まだ具体的な利活用のイメージが湧かない」、「施設（学校）が大きいからこそ、未来を考えて地域でも話し合う必要がある」といった意見がありました。



アイスブレイクで花の寄せ植えを実施。
様々な世代の方が交わって、話をする機会になりました。



今年度夏に実施した民間事業者との対話（サウンディング）型市場調査の結果詳細は、こちらからご確認ください。



これらの取組で見えてきたこと

今年度実施した3つのイベントを通じて、この場所には世代をつなげる力がある、と感じました。
「地域のために、続いてほしい」
「子どもたちの未来につながる場所になって欲しい」 そんな温かな思いを、あちこちに感じました。

この思いを形にするには、
学校という大きな『空間』を、「誰か」が運営するのではなく、
地域のみなさんが関わりしろを感じ、日常的に立ち寄りたくなる場所に育てていくことが大切です。

そのためにも、民間の力と地域の思いを組み合わせた新しい運営の仕組みを整えていきます。

市では現在、来年度に予定している運営事業者の公募に向けた準備を進めています。

引き続き、地域のみなさんと一緒に「これから」をつくっていきます。

令和8年度に、運営事業者を選定します！

一緒に事業を作り上げていく、事業パートナー（運営（予定）事業者）を募集します！

この学校跡地利活用事業は、施設自体への集客力を高めながら、中長期的には施設周辺エリアの土地利用の活性化や関係人口・定住人口の増加につなげていくことを目指しています。

そのため、単に施設を改修し、利活用することに留まらず、地域資源や特色を生かし、施設利用者や地域に対する付加価値を創出できる運営重視の事業デザインが必要です。

よって、この学校跡地利活用事業においては、公募型プロポーザル方式により、「企画力」「運営力」「発信力」に優れた民間事業者を「事業パートナー（運営（予定）事業者）」として選定したうえで、その提案の趣旨を踏まえた事業条件や事業手法等を本市との協議により構築し、事業化を図っていきます。

公募のスケジュール

募集要項の公表	令和8年1月上旬
現地見学会	令和8年2月上旬
提案書類の受付	令和8年3月下旬
審査委員会の実施	令和8年4月下旬又は5月上旬
優先交渉権者の決定	令和8年5月中旬頃

* 詳細は、市のHPで随時公表していきます。

**2027年度（令和9年度）以降、スムーズに
利活用がスタートできるように、地域のみなさん
と対話を行いながら、準備していきます。**

引き続き、みなさんのご協力を
よろしくお願いします！

